アイコン

中程度の精度で自動的に生成された説明科学技術振興機構報　第ＸＸＸＸ号

解禁時間（ﾃﾚﾋﾞ、ﾗｼﾞｵ、WEB）：令和XX年X月XX日（Ｘ）午前/後X時（日本時間）

（新聞）　　　 　 ：令和XX年X月XX日（Ｘ）付朝/夕刊

令和●年　月　日

東京都千代田区四番町５番地３

科学技術振興機構（ＪＳＴ）  
Tel：03-5214-8404（広報課）

URL http://www.jst.go.jp

# メインタイトル

内容が一目で分かり、インパクトのあるタイトルを。　例）○○の仕組みを解明、○○を発見

## ～サブタイトル～

専門用語をなるべく使わず何に役立つのかをサブタイトルに。

### ポイント

* 研究の意義や背景など（過去）
* 今回の成果の一番のポイント（現在）
* 応用面や今後の展開など（未来）

|  |
| --- |
| **・囲みを読めば内容が概ね理解できるくらいにポイントを絞ってください。**  **・「ですます」調で作成してください。**  　ＪＳＴ ＡＬＣＡ－Ｎｅｘｔにおいて、＜所属機関＞の＜研究者＞今回の研究成果に最も貢献した代表者、原則１名らは、・・・・を開発しました。などの結論を簡潔に記入してください。注釈を必要とする専門用語はできるだけ使わないでください。［第１段落目］  従来は・・・で、・・・注１）の開発が望まれていました。などの研究の意義や背景を記入ください。［第２段落目］  本研究グループは、・・・をどのようにして、・・・注２）ということを明らかにしました。などの発表内容を記入ください。［第３段落目］  ・・・のような治療に役立つことが期待されます。などの応用面や今後の展開や課題を記入ください。［第４段落目］  　本研究は、＜所属機関＞の＜研究者＞と共同で行いました　or　の協力を得て行いました＞。冒頭の研究グループに属さない共同研究者や協力者は適宜ここに一行挿入してください。  　本研究成果は、２０●●年　　月　　日（英国時間または米国東部時間）発行の◇◇科学誌「　　　」に掲載されます。冊子版はこちら。  　本研究成果は、２０●●年　　月　　日（英国時間または米国東部時間）に◇◇科学誌「　　　」のオンライン版で公開されます。オンライン版はこちら。 |

|  |
| --- |
| 本成果は、以下の事業・研究領域・研究課題によって得られました。  　　ＡＬＣＡ－Ｎｅｘｔ  　　技術領域：「・・・・・・・」  　　　　　　　（プログラムオフィサー：氏名　所属　役職）  　　研究開発課題名：「・・・・・・・」  　　研究開発代表者：氏名　所属　役職  　　研究開発期間：令和ＸＸ年ＸＸ月～令和ＸＸ年Ｘ月  　ＪＳＴはこの技術領域で、・・・・・・・・技術領域概要・・・・・・・・。上記研究課題では、・・・・・・・・課題概要・・・・・・・・。 |

・２ページ目以降は詳細説明を記載してください。

・背景、内容、展開を、概要を補足する形で書き分けてください。

・概要と同じ文章にならないようにお願いします。

### ＜研究の背景と経緯＞

研究背景は、何のために研究したか、研究目的が分かるように記載してください。

・研究開発成果と、社会生活や産業界などとの関係

・研究を行う必然性、従来の研究状況、今までの問題点など

・背景はあくまでも本研究前に分かっていたこと・予想を書き、研究内容や今後の展開は書かないでください（きちんと分けて記載してください）。

### ＜研究の内容＞

研究内容は、誰が、なにを、どういう方法で、どうした（５Ｗ１Ｈ）について記載してください。

・発見した事実や開発した製品・手法など成果を具体的にまとめる。複数にわたるときは、箇条書きも活用してください。

・成果の水準として、世界最高、世界初など、一般的に分かりやすい表現を工夫。改良研究では、性能・効率アップを数値で示してください。

・これまで発見・開発できなかった理由。それを可能にした研究開発の準備作業、研究開発に採用した実験・測定機器、実験・測定手法など。独自の工夫をした場合は、そちらにニュースバリューがあるケースも考えられるので、その内容を明記してください。

### ＜今後の展開＞

・効果について、今後どのような効果が得られるのかを具体的に説明してください。

・将来の展開を説明できる場合は、誇大広告にならない範囲で可能性を示してください。

### ＜参考図＞

・図にはキャプションをつけ、数行の説明文をつけてください。

・オリジナル図表のキャプションや縦軸横軸が英語で書かれている場合は、日本語に直してください。

・写真説明などもポイントに矢印や吹き出しを入れるなど工夫願います。論文への掲載の有無にとらわれず、研究の基本的な図面や、研究の意義や背景を示すような図を入れるなどすると効果的です。

・論文に掲載した図などは、雑誌社に著作権がある場合がありますのでご留意ください。



図１　＊＊＊＊

キャプション＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

### ＜用語解説＞

注１）＊＊＊

　　＊＊＊＊

注２）＊＊＊

　　＊＊＊＊

・専門用語には用語解説をつけてください。

・何度もでてくるような単語、キーワードとなる単語を専門用語として解説してください。

・用語解説は10個前後で済むように、頻度の少ない専門用語は他の言葉で言い換えたり、本文中で  
説明してください。

### ＜論文タイトル＞

“英語タイトル　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　”

（日本語タイトル　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　doi：10.xxxx /xx.xxxx

### ＜お問い合わせ先＞

＜研究に関すること＞

　研究者氏名（フリガナ）

　　ＸＸ大学 ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ　最後に役職名（教授、准教授など）

　　〒 住所

　　Tel：　Fax：

　　E-mail：

・原則リード（冒頭）に名前を挙げた方。

・発表日以降、記者からの取材に対応できる連絡先を記載してください。

＜ＪＳＴの事業に関すること＞

調査役氏名（フリガナ）

　　科学技術振興機構 未来創造研究開発推進部

　　〒102-0076 東京都千代田区五番町７ Ｋ’s五番町

　　Tel：03-6272-4004　Fax：03-6268-9412

　　E-mail：alca-next@jst.go.jp

|  |
| --- |
| **＜科学を支え、未来へつなぐ＞**  例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。ＪＳＴは、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。ＪＳＴは荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。  ＪＳＴは、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。 |